

生き物生息場づくりPT企画(案)

1. 名前(案)

本PTは、「(仮)生き物生息場づくりPT」と称する。

2. ミッション

多様な関係者が連携し、生き物の生息場を創出するアイデアを提案する。また、これらの活動のうち、民が主体的に実施できるものについては、その枠組、メリット(インセンティブ)、PR方策等について整理・検討する。

3. 具体的な活動内容

- 企業とNPO等とが連携し、民が主体的にアマモ場の再生に取り組めるよう、企業にとってのメリット(インセンティブ)、一般市民への興味参画を促進するPR方策等について検討する。
- 水産・港湾等が連携し、生き物の生息に適した場の創出に関するアイデアを提案し、その取組を企画する。
- PTのメンバーは、多様なニーズ及びアイデアを抽出するため、研究者、漁業者、NPO、水産、行政等の多様な構成とする。

指標PT企画(案)

1. 名前(案)

本PTは、「(仮)「東京湾再生のための行動計画」の指標検討PT」と称する。

2. ミッション

東京湾再生に向けた様々な目標を達成するための多様な主体による種々の活動を適切に評価できる指標を、多様な関係者と協議して検討し、H26年度のフォーラムに提案として提出する。

3. 具体的な活動内容

- 「東京湾再生のための行動計画」に記されている目標を達成するための活動を適切に評価できる指標を検討する。
- 第1期の行動計画では、指標を「底層のDO（溶存酸素量）」としていたため、各種事業およびNPO活動等を適切に評価できなかった反省を踏まえ、種々の活動を適切に評価できるきめ細やかな指標づくりを目指す。
- PTの構成メンバーは、種々の活動の意見を取りこめるように、研究者、NPO、企業、行政等、または、港湾、環境、水産、観光等の多様な専門、産業からなるメンバーとする。

- 検討結果をまとめ、H26年度のフォーラムに提案として提出する。それをもって、本PTは終了する予定である。全4回程度の会合を想定している。

モニタリングPT企画(案)

1. 名前(案)

本PTは、「(仮)東京湾環境モニタリングの推進PT」と称する。

キャッチコピーは「みんなで知る江戸前の海、東京湾」

2. ミッション

東京湾の現状を把握し、その変化傾向や変化機構を探ることが再生の礎となるという重要性に鑑み、東京湾再生推進会議(以下、推進会議)と協働し、モニタリングの実施及び成果についての普及、啓発を推進することをミッションとする。主な対象事業として、推進会議の実施する「東京湾における流域および海域の環境一斉調査(旧称:東京湾水質一斉調査)」(以下、一斉調査)を対象とする。

3. 具体的な活動内容

- 推進会議と共催で一斉調査等のモニタリング成果について広く関係者、一般市民と共有するための整理、とりまとめのためのワークショップを実施する。
- そうした成果を、報告書やマップとしてとりまとめ、フォーラムにおいて「東京湾再生を考えていくための基礎資料」として発表、採択され、広く共有される記録となることを目指す。
- 必要があれば、一斉調査の事務局会合などにオブザーバ参加するなどし、調査の内容、実施方法等に関し、推進会議へ提案する。

- PTの構成メンバーは、種々の活動の意見を反映し、多様な関係者と成果を共有できるよう、行政関係者、研究者、専門家、漁業関係者、釣人、マリレジャー関係者、企業関係者、NPO、教育関係者、一般市民からなるメンバー構成を目指す。
- 年間の活動としては、PT会合、一斉調査への参加※、2回程度のワークショップ※、フォーラムでの報告を想定している（※は、推進会議との協働事業）。

東京湾大感謝祭PT企画(案)

1. 名前(案)

本PTは、「(仮)東京湾大感謝祭PT」と称する。

2. ミッション

東京湾各地で行われている様々なイベント等を集約・創出し、東京湾に触れあい、学び、楽しみながら、環境について学ぶ機会を提供する。

3. 具体的な活動内容

- 東京湾大感謝祭の期間を設定し、東京湾大感謝祭を盛り上げるための企画・運営を行う。

《初年度》

- 東京湾大感謝祭(11/23)のイベント等を企画し、実行する。
- 東京湾大感謝祭期間中に行われるイベント等をリストアップし、「東京湾大感謝祭(仮)」への登録を働きかける。
- 東京湾大感謝祭への賛同表明があったイベント等や当該主催者名、賛同企業名等を掲載したポスターを作成する。

- 東京湾で行われているイベント等を地図化にすると共に、イベントカレンダーを作成し、HPにアップする。

- 東京湾ゆるキャラのアイデア・コンセプト募集

- 江戸前料理のイベント(江戸前ブランドPTとのコラボ)

《将来的》

- 年2回、東京湾大感謝祭週間を設けて、東京湾のイベントをPRする。

- 東京湾ヨットレース、クルーズ

- 東京オリンピックとのコラボ

江戸前ブランドPT企画(案)

1. 名前(案)

本PTは、「(仮)江戸前ブランド育成PT」と称する。

2. ミッション

多くの魚介類が獲れる東京湾の魅力をも、「江戸前」という言葉に乗せて、加工品や料理の魅力を具体的に味わうことのできる東京湾として発信し、高度成長期の湾岸開発による被害から立ち直りつつある都市隣接型のこの海を、我が国、ひいては世界における再生のモデルとして、広く伝えることをねらいとする。またその活動を通して、湾岸に住む人の暮らしの変化に伴いこれからも変わりゆくであろうこの海の、過去・現在・未来の姿を、「江戸前の魚」を通して検証し、この海のブランド性を追究する。

3. 具体的な活動内容

東京湾の魚介類を扱う水産関係者や企業、マスコミ、各種活動団体等と連携し、「江戸前の魚」が、中身もよく理解された確固たるブランドとなるような方策を検討するとともに、一般国民の「江戸前」に対する認識が、より明確な具体的なものとしてイメージできるよう、料理だけでなく、あらゆる表現媒体を駆使して継続的に発信する。

【例】 東京湾で取れる水産物や食べ方の変遷を把握すべく、漁港別に、魚種、時期、漁法、漁場、漁獲量、加工品、魚の食材的特質等の調査を実施する。

【例】「東京湾大感謝祭」他のように、食を通じて発信できる機会をとらえ、広く国民への普及と育成を図る。

【例】「江戸前の魚」の発信方法を検討・実行する。